

令和2年度第1回総合教育会議 会議録（要旨）

- 1 会議期日 令和2年5月25日(月)
午後1時30分～午後3時20分
- 2 会議場所 合志市役所 合志庁舎 2階庁議室
- 3 出席委員 荒木義行市長 中島栄治教育長 池頭俊委員
坂本夏実委員 村上貴寛委員 塚本小百合委員 (6名)
- 4 欠席委員 なし
- 5 職務のために出席した者

岡田竜太郎政策監
教育部 岩男竜彦部長
学校教育課 渊上佳宏教育審議員
角田賢治指導主事
大山寛指導主事
右田純司課長
緒田友一学校給食班長
吉岡敏夫新設校準備班長
竹田直広総務施設班長
齋藤正典主幹
生涯学習課 栗木清智課長
人権啓発教育課 飯開輝久雄課長
総務部 高島圭二部長
財政課 坂本浩一郎課長
企画課 松田勝課長
坂田寛之企画広報班長
森田由貴恵主幹
- 6 会議の公開・非公開の別 一部非公開（市情報公開条例第6条第6号に該当）
- 7 傍聴者 なし
- 8 会議内容

※開会あいさつ

○荒木市長： 皆さんこんにちは。久しぶりの総合教育会議であります。この趣旨というのは、今、コロナ関係で教育現場も大変様変わりしておりましてご苦労も多いかと思えます。また、そう言いながらも我々は予算を議会にお願いをして、承認をいただき執行していくというのが我々の本来の仕事でありまして、先般、大変言いにくいのでありますけれども、中島教育長にも少し私自身が指導を致しました。と言うのが、学校現場で決まっていく

のは構わないけども、議会の承認、または議員の様々な理解がないままで学校教育だけが一人歩きしているととんでもない事になるということで注意を致しましたが、翻ってその注意は私自身に言わなければいけなかったということです。

総合教育会議は最高機関として決まったことを議会や市民に伝えていくという事を、私自身が疎かにしておったなという反省もありまして、今回、色んな形でこちらからお願いするのではなくて、いま学校現場が抱えている問題、または将来 GIGA スクールの問題をはじめとして、そのタイミング、予算、全てにおいて議会の承認が要る訳であります。ですから、どういったものをするのかというのは学校現場だけで決められるものではないという事で、今回そういったものを含めてまずは、現場の先生方または教育委員会の話をしっかりと市長部局もお聞きをして、一緒になって協力をして前に進めていこうというかたちでこのような場所を作らせていただきました。コロナ関係で終息は当然まだまだ先が見えないし、長期化していきたくらうと思えますし、経済に与える影響というところからすれば我々が所持をしている基金、これも今日、財政課、総務課を通じて再編成をするように指示を致しましたが、相当枯渇をしてしまうということで、下手をすれば出す金が無くなってしまうという状況の一手手前まで来ている事も事実であります。そういった中で、せっかくやる学校教育の現場であるならば、有効性、そして将来性、そして子どもたちに与える立派な教育環境を作っていかなければならないという風に思っておりますし、またコロナ関係でいけば、市民の方々から今日の熊日を見られればお分かりのように、熊日さんが書かれた内容によっては、国からの支援金というのは各自治体バラバラでありました。少ないところから多いところまでいけば、その差は10倍ということでありました。小さいところの町や村ほど潤沢にきて、何度も言われるけども、熊本市の周辺である我々のところには一部しか支援が来ておりませんので、これもまた基金を取り崩して各市町がやっていることを対応していかなければいけないという事で、二重三重にコロナ対策、または教育現場含めて大変厳しい財政状況の中にございます。そういったものも共通認識という形でそれぞれがお話をお聞きして最大限一枚岩になってこの難局を乗り越え、更には子どもたちの教育環境の充実に繋げていきたいと、こういった思いでもありますので、今日はそれぞれ担当または責任のある方々にご出席をいただいておりますので、いろんな形でのご意見、ご提言を頂ければありがたいなと思っております。

今日は、傍聴者は来られてないですか。それでは、皆様方のそういった思いで会議の方を進めさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

・議 事

市長：議題に入ります。議題 1、今後の児童生徒増に伴う学校施設の対応について、事務局から説明を。

※事務局（学校教育課）説明

市長：何か質問は。

市長：今の状態だと、それ以上開発が無ければ新設校は大丈夫という事か。

学校教育課長：今の推計でいくと大丈夫。

市長：他にご質問は。

教育部長：補足ですが、推計については地区計画等を考慮していない値になる。今後、北熊本スマートインターや中九州横断道路ができた場合に地区計画も考えられるため、現在の推計値よりは伸びが著しいのではないかと考える。

市長：早め早めに、定期的に予測は予測で出してほしい。変更する場合は、財政的な面も含めて1年以上は早めに変更を。また、3密を防ぐという意味で、避難所数が不足する可能性があるので教室を開放せざるを得ない。これについては、現時点で交通防災課と学校教育課で打ち合わせをしているか。

教育部長：その話は今日、交通防災課長としたところ。詳細まで詰めていないが、これについては学校現場の先生方と詰めが必要。

市長：なるべく学校は使わないような計画を立てるということか。

教育部長：はい。

市長：防災拠点センターでは到底足りない。計画が決まった時には報告するように。

教育長：特別支援学級の子どもたちの数が増えてきている。推計に出てきてない数字として必要となってくる教室がある。それは今後加味しなければいけない。

市長：黒石原と菊池支援学校の教室増について県の教育長に申し入れを行った。また、ここ

5年間で菊陽町と合志市の障害児デイサービスの普及率が毎年3倍ずつ増え、5年間で子どもが10倍に増えてきている。市外から利用されていた方々も合志市に生まれるため増えてきている。この増える流れは止めることが出来ない。このような事情があり、熊本市がこれ以上施設を作らないと明言をし、菊陽、合志、嘉島町などに転入が増えている。現在、ネットワーク会議を設立しているので情報収集を行っていきたい。

市長：議題2、学校給食の方向性について ※非公開

市長：議題3、新設小中学校関係について、事務局から説明を

※事務局（学校教育課）説明

市長：制服については、議会にも報告しこの総合教育会議で決定としたい。これ内容で決定としたい。あと、校章に関しては、それぞれご意見を聞かせて頂き、資料の1, 2, 3の中から決めたものを最終決定とさせていただきます。

企画課長：校章で一番小さいサイズはどのくらいか。

事務局：制服のピンバッジで使う。標準服の胸に入る可能性があるのが一番小さいと思われる。

市長：小学生は校章をどこに着けるのか。

事務局：小学校については、まだ決めていない。公にしていないが、自由服ではなく標準服の意向が多かった。

市長：標準服に校章を刺繍するのは高額にならないか。

事務局：そうです。高額にならないよう対応する。

市長：挙手方式で決めます。良いと思うものに挙手をお願いする。

※採決（結果3番）

事務局：ありがとうございます。

市長：今度の定例記者会見で、今回決まった制服を公表したい。そうすると、新設校のイメージ付けになると思う。

市長：小学生の制服はどうなっているのか。

事務局：小学校はまだ決定していない。

市長：体育帽子に校章が入る可能性はあるのか。

事務局：そうですね、マークが入る可能性はある。

市長：議題 4、いじめ防止及び自死防止への対応について、事務局より説明を

※事務局（学校教育課）説明

市長：ありがとうございました。早期発見・早期対応というのが一番だが、根深いものもある。外見では分からない家庭の事情というのは特にあると思う。女性・子ども支援課の創設以来、相談件数が増えているのが実情。

いじめ防止等については、学校と連携を取りながら、ときには警察とも連携しなければいけない。

先般、気になったのは不登校の数が減らないということ。それが、社会現象なのか合志市独特なのか、熊本県全体でみると不登校は増えているのか、その辺を分析してほしい。

事務局：不登校の数だけ見れば全国的に増えているし、菊池管内も右肩上がりの状態というのが現実。同じように合志市も前年度比にしますと増えている。それぞれの状況については、個々の状況で違う。不登校と一概に言っても病気によるものか、実際は何か別の要因があるのか非常に見分けが難しい。それぞれの個々にどれだけ関わっていけるかというところで、女性・子ども支援課、警察関係でのスクールサポーターなど、いろんな関係機関と連携、情報を交換しながら個々に対応しているのが現状。

市長：ほかにご意見は。

～特になし～

市長：議題 5、ギガスクールの公表について、事務局より説明を

※事務局（学校教育課）説明

市長：何かご質問はありませんか。

財政課長：先生の分が 423 台だが、これは今、先生には校務支援のパソコンを配付しているが、それとは連動は出来ないのか。

学校教育課長：校務支援は、事務処理のシステムであって併用は出来ない。

財政課長：それはアプリやシステムの問題なのか。

学校教育課長：いいえ。子どもたちと先生が同じタブレットを持って授業を行うため、先生分のタブレットを計上している。

教育長：現在、先生たちに配布しているパソコンは、カメラも音声マイクも付いていないもの。自宅と学校などで遠隔による授業をする為には、カメラや音声マイクが必要。

市長：タブレット等の導入費用を抑えるため、県の教育委員会を通じて一括購入出来ないかと、要望をしているところ。

学校教育課長：タブレットの一括調達の件は、先週、県も今後それを進めるという文書が来たので、事務局としてもそれで進めたいと思う。

市長：契約は各市町村なのか。

事務局：県で納入業者を決め、それから市町村ごとの 1 社との契約になる。

市長：GAGA スクールについて、是非一生懸命やっていただきたい。

市長：他に質問は。

市長：無ければ、その他について事務局より何か。

企画課長：新型コロナウイルス感染症の対応で小中学校の活動の再開について説明する。

※事務局（学校教育課）説明

市長：夏休みはどうなるのか。

教育長：夏休み期間の案としては、8月1日から8月24日までの間を予定している。最終決定については、来月の教育委員会議での決定を考えている。

市長：終息宣言はおそらく今年はない。今、子ども達のマスクは余裕があるのか。

事務局：マスクについては、熊本地震時の配布分のストックと、交通防災課から児童生徒分と教職員分については提供いただいた。現在は、国からの布マスクの配付分と手作りマスクで対応している。

市長：換気をしながらエアコンを使用している状況か。

事務局：はい。エアコンを使用しながら、窓を5～10センチ開けた状態で換気している。

市長：自宅に体温計が無いというご家庭はあるか。現在、非接触型体温計を購入予定であるが、納入は7月後半から夏休み期間中かと思われる。

事務局：原則は必ず家庭での検温をお願いしている。風邪症状等がある時は無理をせずに登校を控えていただき、それは欠席にならない出席停止扱いというところで周知をする。

市長：体温計については早く手に入るよう対応したい。

市長：他にありませんか。良いですか。ありがとうございました。
では、本日の会議はこれで終了させていただきます。

以上